

# 保健医療サービス論

科目コード

CD4075

単位数	履修方法	配当年次	担当教員
2	R or SR(講義)	3年以上	山本 邦男(上)/佐藤 英仁(下)



※この科目は、2009年度以降入学者に対して開設されている科目です。2008年度以前に入学した方は、履修することはできません。

## 科目の概要

### ■科目の内容

「保健医療サービス論」は、社会福祉士受験科目「医学一般」を新たに再編したものです。したがって、本科目は、少子高齢化、疾病構造の変化等に伴う各種制度の改変とニーズの多様化に合わせ、改めて社会福祉士に必要な学習領域を示したものと理解できます。

本講義では「保健医療サービス」の基礎的知識とソーシャルワークの歴史やケースワークの技術、価値、多職種との連携等について学びます。主として、①保健医療サービスのシステム、②専門職の役割、③社会資源との連携、④保健医療分野のケースワーク理論等です。スクーリングでは、医療ソーシャルワーク、ケアマネジメントの実務事例にふれながら、わかりやすく解説します。

### ■到達目標

- 1) 保健医療サービスの構成要素や歴史、機関間連携とSWの役割を述べることができる。
- 2) 医療法や診療報酬、介護保険法における施設の機能や類型を説明できる。
- 3) 保健医療サービスにおけるMSWの歴史と業務内容を解説できる。
- 4) 保健医療サービスの関連専門職の業務内容やMSWの基本的姿勢を説明できる。
- 5) 保健医療サービスにおける各種社会資源（健康保険や高額療養費等）を解説できる。

### ■教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス（第5版）』中央法規出版、2017年（第5版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）

【仙台・新潟・オンデマンド開講分】必要な資料はすべて配付しますが、上記教科書は参考になります。

【盛岡開講分】上記教科書とスライドを用いて講義。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

## ■科目評価基準

レポート評価20%＋スクーリング評価 or 科目修了試験80%

## ■参考図書

日本医療ソーシャルワーク研究会監修 村上須賀子・大垣京子編集『実践的医療ソーシャルワーク論（改訂第2版）—保健医療サービスを学ぶ』金原出版、2009年

村上須賀子・竹内一夫編『医療ソーシャルワーカーの力～患者と歩む専門職』医学書院、2012年

## スクーリング

### ▶仙台・新潟・オンデマンド開講分 佐藤 英仁

### ■スクーリングで学んでほしいこと

医療は私たちに非常に身近であり、誰にでも必要なものですが、意外と知られていないことも多いのが現状です。例えば、「病院と診療所はどう違うのか」、「出産したときにもらえるお金はいくらか」などについて自信を持って回答できるでしょうか。講義ではそのような身近な疑問に答えられるように、さまざまな医療・保健分野の仕組みについて学びます。なお、この分野では近年さまざまな制度変更がなされていますが、本講義では、最新データや制度変更にも対応します。

## ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	医療法・医療政策・医療計画	医療法や医療政策、医療計画の概要を学ぶ。特に、近年変化した部分について重点的に理解する。
2	保健医療サービスの専門職の概要と役割	業務独占と名称独占の解説および医師、看護師等の仕事の概要を理解する。
3	医療機関の概要	病院と診療所、特定機能病院と地域医療支援病院などについて学ぶ。
4	診療報酬制度の概要—診療報酬点数表	「診療報酬制度とはどういうものか」について学ぶ。また、具体的な点数についても取り上げる。
5	診療報酬制度の概要—出来高払い制と包括払い制	診療報酬制度の近年の改定、出来高払い制と包括払い制などについて学ぶ。
6	医療保険制度の概要—療養の給付・高額療養費	療養の給付、入院時食事療養費、入院時生活療養費、保険外併用療養費、高額療養費などについて学ぶ。
7	医療保険制度の概要—傷病手当金・出産育児一時金	傷病手当金、埋葬費、出産育児一時金、出産手当金などについて学ぶ。
8	国民医療費の概要	国民医療費とはどういうものかを理解したうえで、国民医療費の現状（制度区分別、財源別等）や推移について学ぶ。
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

## ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。講義中表示したパワーポイントのスライドはすべて配付します。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況20%+スクーリング試験80%（持込すべて可）

※試験はマークシートによる択一式にて実施します。

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書（第4版以前のもので可）の第5章第1節を事前に読んできてください

### ▶盛岡開講分 山本 邦男

#### ■スクーリングで学んでほしいこと

MSWは「保健医療サービスにおいて生活相談・援助を行う社会福祉士」と定義されています。そこで重要なのは保健医療サービス全般の知識と利用者の権利、主体性を尊重するMSWとしての基本的姿勢を学ぶことです。その上でMSWがフィールドとする保健、福祉関連専門職種や地域関係機関との連携に関する実践の知識、支援の技術です。さらに重要視される在宅療養、退院支援等新たな分野について学習を深めてください。

#### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	保健医療サービスの変化と専門職の役割	歴史と人、もの、かね等の構成要素を学ぶ
2	保健医療サービス提供施設とシステム	関連する法律、施設、制度の概要を把握
3	MSWと他専門職の役割を知る	MSWの業務と周辺領域専門職の知識を広げる
4	医療保険と介護保険制度等の知識	MSWの中核的社会資源知識を習得
5	保健医療サービスにおける連携と知識	医療から地域へ、自宅へ、介護への連携
6	各種社会資源の活用と具体的事例	MSWの支援と社会資源活用について
7	MSWの実践的事例について学ぶ	ケースの実践例について学ぶ
8	重要キーワード解説、レポート記述の助言	重要キーワードの解説とレポートの基礎知識
9	スクーリング試験試験問題25問○×式	

#### ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料、教科書にもとづいて講義を進めます。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況10%+スクーリング試験90%（持込不可）。講義で資料配布の上、十分解説します。

○×式で25問、到達目標、各関連キーワードの理解を試験します。

**■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）**

下記に関連するキーワードを中心に基礎的学習を行ってください。

試験は教科書を中心として出題します。医療法や介護保険法関連の施設類型とサービスの概要、地域包括支援センターと連携、MSWの業務と関連専門職種の概要、医療と介護保険制度等のキーワードなど、教科書を読んでしっかり学習すること。

**レポート学習**
**■在宅学習15のポイント**

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	保健医療サービスの 変化と社会福祉 専門職の役割① (第1章第1節、 2節)	保健医療サービスを構成するひと・もの・かね 等の構造理解  キーワード：国民皆保険、ステークホルダー、 診療、介護報酬、QOL、コメディカル、医療費 推移、出来高、包括払い	そもそも保健医療サービスとは何か、戦後の保健医療サービスの歩みを学習し考えてください。更に診療報酬、介護報酬の仕組みについて学んでください。
2	保健医療サービスの 変化と社会福祉 専門職の役割② (第1章第3節、 4節)	保健医療サービスと在宅医療と医療法改正  キーワード：医療法、在宅医療、医療連携とチーム医療、MSWの業務と医師の指示、疾病構造の変化と健康転換	保健医療サービスの根幹をなす医療法や関連施設と医療費の動向。疾病構造の変化と保健医療サービス課題、今後の重要政策在宅医療と連携重視の背景を学ぶ。
3	保健医療サービスを 提供する施設と システム① (第2章第1節、 2節)	医療法による施設類型と機能。医療政策と施設 機能類型  キーワード：病床、特定機能病院、地域医療支 援病院、病院、診療所、政策医療、がん拠点病 院	我が国の保健医療、介護の中心的役割を担う医療法とは何か。政策医療と中心機関、役割、医療施設機能と類型を知る。それぞれの施設の特徴を知る。
4	保健医療サービスを 提供する施設と システム② (第2章第3節)	医療と介護の連携  キーワード：地域包括システム、医療・介護機 能再編、社会保障制度改革国民会議報告書、在 宅医療と介護サービス、地域ケア会議	2025年問題を契機に医療と介護の予防と一体的なケアシステムの構築が重要視されている。特に在宅医療を取り巻く各課題を整理学習する。
5	保健医療サービスを 提供する施設と システム③ (第2章第4節、 5節)	診療と介護報酬における施設類型と機能  キーワード：診療報酬、かかりつけ医、在宅療 養支援診療所、地域包括ケア病棟、介護老人福 祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施 設など	医療と介護施設の類型、特徴と概要を整理する。特に在宅療養に関連する各種施設類型や介護保険との連携に関わる施設、機能について整理してください。
6	保健医療サービス におけるMSWの 役割① (第3章第1節、 第2節)	MSWの歴史と仕事  キーワード：COS、アルマナー、キャボット、浅 賀ふさ、MSWの業務指針、ミクロのソーシャル ワーク、心理社会的問題、パートナーシップ、 受診受療と医師の指示	MSWの歴史と仕事の内容について学んでください。個別的なミクロの支援やMSW業務の指針、受診受療援助について学んでください。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
7	保健医療サービスにおけるMSWの役割② (第3章第3節、第4節)	ミクロからメゾ、メゾからマクロへのソーシャルワーク  キーワード：退院援助、退院計画、退院支援計画書、平均在院日数、ハイ・ソーシャルリスク患者群、ジョブコーチ、クリティカルパス、社会復帰援助、地域連携パス、SWOT、モニタリング、アセスメント、ソーシャルアクション	MSWのメゾ、マクロに展開する支援と実際の関わりを考えてください。特に退院後の地域との連携や社会復帰援助について。一つの用語を大事にして概念を把握すること。
8	保健医療サービスの専門職の役割① (第4章第1節、第2節)	専門職の実務の概要  キーワード：業務独占と名称独占、チームアプローチ、アセスメント、患者の権利、医師の職業倫理、インフォームドコンセント、コンプライアンス、セカンドオピニオン、アドバンスディレクティブ、プトゥリム、アカウントビリティ	専門職の仕事、お互いの役割、業務独占、名称独占とは。パートナーリズム、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて医療と保健の重要キーワードを学習してください。
9	保健医療サービスの専門職の役割② (第4章第3節)	専門職の視点と役割の実際  キーワード：LIFEの3層と相補性、医行為、診療補助、療養の世話、パラメディカル、コメディカル	保健医療サービスにおいて各専門職はどのような視点で業務を遂行しているのか、特に医師や看護師、スタッフの役割を把握。
10	保健医療サービスの提供と経済的保障① (第5章第1節)	医療保険制度と診療報酬の概要  キーワード：被用者保険、地域保健、協会健保、組合健保、保険料、現物給付、高額療養費、出産手当、出産育児一時金、傷病手当、出来高、包括、点数、中医協、審査支払機関	医療保険制度の概要を知る。被用者と地域保険の違いや給付の内容、診療報酬の決定に関わる機関等具体的な知識を得ること。特にMSWの支援には欠かせない社会資源です。
11	保健医療サービスの提供と経済的保障② (第5章第2節、第3節)	介護保険制度と介護報酬、自立支援医療と公費負担制度  キーワード：第1号、第2号、特別徴収、普通徴収、要介護認定、居宅サービス、地域密着型、高額介護サービス費、単位、公費負担医療、自立支援医療	介護保険制度の概要を把握、MSWとして多く活用する社会資源です。個別的ケースに介入する場合、信頼関係の基礎になります。いかに多くのメニューとネットワークを活用できるか知識を広げてください。
12	保健医療サービスにおける専門職の連携と実践① (第6章第1節、第2節)	保健医療サービスにおける連携の基礎知識  キーワード：多職種連携、チームワーキング、チームコンフリクト、コンピテンシー、パワー概念、タスク機能、モラル、障害者総合支援法、地域福祉計画、介護予防、介護施設、医師会	ヘルスケアと連携の意味を知る。多職種間における望ましい連携の在り方を考えてください。更に個人の能力（コンピテンシー）やパワーの概念は支援の大切なキーワードとなります。
13	保健医療サービスにおける専門職の連携と実践② (第6章第3節)	連携の実際、機関  キーワード：ケアシステムとチームケア、病院・施設・地域の連携と協働、クリティカルパス、バリエーション、がん末期のチームケア、エコマップ	各機関（行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター）連携とがん末期チームケアについて、医療から地域への流れが重要視される中での各キーワードについて学習。

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
14	保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践① (第7章第1節)	ネットワーク構築の方法と基礎知識  キーワード：ネットワークの規定と原則、ペインコントロール、シームレスケア、ソーシャルアクション、オンブズパーソン制度、コンサルテーション	MSW 業務領域の拡大に伴い、地域とのネットワークと多職種連携が重要、実践を前提にその知識と基本的な原則について学習してください。
15	保健医療サービスにおける地域の社会資源との連携と実践② (第7章第2節)	キーワード：長崎在宅 Dr ネット、がん医療地域ケアネットワーク、多職種連携、診診・病診連携	長崎在宅 Dr ネット、神奈川県医療通訳派遣システム、がん医療地域ケアネットワークにおける連携、目的、内容、留意点について実践から学ぶ。

## ■レポート課題

1 単位め	保健医療サービスにおける多職種との連携において、MSW の専門性はどのように発揮されるべきか述べなさい。(1,600字以上)
2 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

**(2018年度以前履修登録者)** 2019年4月よりレポート課題の2単位めが変更になりました。『レポート課題集2018』記載の課題でも2020年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

## ■アドバイス

高齢社会をキーワードとして、保健医療サービスは激しく変化をしています。なかでも社会福祉専門職（医療ソーシャルワーカー；以下 MSW）への役割期待は医療連携、ネットワークによる退院支援の診療報酬制度への反映など、年々高まりつつあります。

その背景には少子高齢社会や生活習慣病などにみられる疾病構造と社会福祉の構造改革による制度の変化などが挙げられます。また、難病やターミナルケア、在宅医療など、従来の医療機関スタッフのみでは解決できない多様な問題の出現があります。

従って MSW には医療から在宅、地域関係機関などとの地域連携に見られる包括的関わりによる対応がますます求められ期待されるようになっていきます。その要点については、教科書（p.20～38）をよく読み、理解を深めてください。参考図書として『実践的医療ソーシャルワーク論』（改訂第2版）を推薦します。より詳細な医療福祉制度の流れと MSW 業務の関連を学習してください。

1 単位めの課題は診療報酬改訂や介護保険制度創設に代表されるように、病院から在宅への医療政策によって、MSW の働く場と業務内容に大きな変化が見られます。教科書では、保健医療サービスにおける多職種との連携において、MSW の専門性はどのように発揮されるべきか、MSW 業務の具体的な事例を参考にしながら、業務の展開とその独自性についてまとめてください。

2 単位めの課題では、そのような MSW の業務領域のキーワードについて整理し学習してください。教科書には、「保健医療サービス」に関連する多くの専門用語が用いられています。背景には医療福祉

制度の改変、在宅医療支援の普及があり、ネットワークや地域連携のキーワード共有化は日常の業務においても重要となります。特に包括的な地域ケアシステムの視点から医療と福祉の連携の重要性とMSWの役割について教科書をしっかり読みまとめてください。

1 単位め  
アドバイス

教科書、第1章において「保健医療サービスの構造」の変化とMSWの役割について学んでほしい。特に高齢社会における「保健医療サービスの今日的課題」(第3節 p.20)と第4節におけるチーム医療と社会福祉士、在宅医療と医療法改正の背景について熟読し整理すること。さらに、疾病構造の大きな変化がもたらす「健康転換と保健医療サービス」の変遷(p.33)について整理し、専門分化しつつチーム医療と医療ソーシャルワーク業務の他専門職との連携と「調整」について理解を深めてほしい。

第3章ではMSWの業務指針と活動範囲、医師等他専門職との具体的な連携の事例を通して学習してください。第4章では保健医療サービス提供チームの役割を確認し、それらの専門職と連携するためのMSWの基本姿勢と視点を学習してください。各章の関連項目を熟読し、併せて参考文献を参照しながらまとめてください。

2 単位め  
アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

## 科目修了試験

### ■評価基準

科目修了試験問題は教科書から出題しています。教科書の重要キーワードに留意して丁寧に教科書を読んでください。特に「在宅医療と連携」「チームアプローチ」「介護保険制度」「医療保険制度」の概要、「MSWの業務内容」や用語の概念を丁寧に学習してください。